

2019年度 三賞 (藤原賞, 大川賞, 佐伯賞)

2019年7月12日に開催した第72回定時総会におきまして、受賞者各氏に対しそれぞれ山崎理事長より賞状及び副賞が贈呈されました。

藤原賞 王子ホールディングス株式会社 取締役専務グループ経営委員 小関良樹 殿

大川賞 元日本製紙株式会社 常務執行役員 濱沖 賢 殿

佐伯賞 元北越コーポレーション株式会社 常務取締役 土田道夫 殿



大川賞 賞状

濱沖 賢殿

あなたは昭和五十二年山陽国業パルプ株式会社に入社されて以来新聞用紙印刷用紙情報用紙板紙家庭紙多岐にわたり時代の要請に応え得る製品品質の確立を行うべく製紙技術の発展に尽力され平成二十九年六月まで日本製紙株式会社常務執行役員として経営の要衝にありました工場運営では平成十九年興陽製紙株式会社社長就任に始まり平成二十二年から二十九年まで日本製紙株式会社勿来北海道大竹岩国各工場長を歴任されました北海道工場においては旭川勇私白老の三事業所一体運営と省カ化をはじめとした

経営基盤の強化大竹工場においてはパルプ生産設備停機後の岩国工場との協業化などの諸施策をそれれ推進されました岩国工場においては各生産設備の修繕メンテナンス体制の見直しによる生産効率の向上を図ったことをはじめ操業体制の見直し八号マシンの生産品目の転換発電仕上製品部門の積極的投資などの陣頭指揮をとり同社基幹工場としての基盤をより強固なものにされた卓越した指導力と経営手腕は高く評価されます

令和元年七月十二日

紙パルプ技術協会

理事長 山崎和文



佐伯賞 賞状

土田道夫殿

あなたは昭和四十九年北越製紙株式会社に入社されて以来製紙技術の発展に尽力され北越紀州製紙株式会社常務取締役洋紙事業本部新潟工場長として経営の要衝にありましたその間北越製紙の白板紙事業強化のため当時市川工場と勝田工場を統合し関東工場の設立を果たし製品構成の再編成や品質向上とコスト競争力の強化などを成し遂げ現在の安定基盤の礎を築きました取締役長岡特殊紙事業部長在勤中は紀州製紙との経営統合に伴う両社の特殊紙事業の再編成を卓越した指導力で成し遂げ新規特殊紙の開発を

強かに押し進めました常務取締役洋紙事業本部新潟工場長在勤中はオンマシン塗工紙製造技術の集大成とも言える広幅高速の九号抄紙機の安定運転に尽力し会社の発展のみならず業界全体の塗工紙製造技術の発展に大きな貢献をされましたまた九号抄紙機の製品の輸出戦略を従来の横浜港から新潟東港に切り替えたことにより物流関連のコストダウンのみならず新潟県及び新潟市の地元経済の発展に多大な貢献をされたことは高く評価されております

令和元年七月十二日

紙パルプ技術協会

理事長 山崎和文

